

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元のHPなどでご確認ください。

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会 令和4年度研究助成募集

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会では令和4年度研究助成の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。助成対象：無機材料およびこれに関連する科学・技術研究。助成額：総額4千万円程度（40件程度、1件120万円以下）。募集期間：令和3年8月1日（日）～12月10日（金）〔必着〕。問合せ先：事務局 長・浜中 E-mail: kenjiro.hamanaka@nsg-zaidan.or.jp <http://nsg-zaidan.or.jp/>

日立財団研究助成 倉田奨励金 2021年度募集のご案内

日立財団では2021年度研究助成「倉田奨励金」の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。助成部門：(1)自然科学・工学研究部門（エネルギー・環境、都市・交通、健康・医療）、(2)人文・社会科学研究部門。助成額：1件あたり100万円～300万円。応募方法：所定の申請書に必要事項記載の上電子申請でご応募下さい。募集締切：令和3年9月15日（水）。連絡先：100-8220 千代田区丸の内1-6-1 公益財団法人日立財団「倉田奨励金」事務局 電話(03)5221-6677 <https://www.hitachi-zaidan.org/activities/kurata/index.html>

第12回化学人材育成プログラム 支援専攻募集

（一社）日本化学工業協会は、化学産業が求める博士人材の育成に積極的な大学院専攻（博士後期課程）を支援するため、「化学人材育成プログラム」事業を展開しています。支援の内容は、博士後期課程進学者への奨学金給付（1人あたり20万円/月×3年間支給、各学年1名ずつ3人を推薦可能）、会員化学企業との交流および就職の支援などです。本プログラムでは、これまでの10年間に約30の大学院専攻を支援し、約100人の博士課程学生に奨学金を支

給してきました。そして、多くの博士課程修了者が本プログラムまたは日本化学工業協会の会員企業に採用され、現在活躍されています。このたび、第12回目となる支援専攻募集を開始することになりましたのでお知らせします。多くの化学系専攻の皆さまからの応募をお待ちしております。詳細は、日本化学工業協会HP (https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/application.html) をご参照下さい。募集期間：2021年9月1日（水）～9月30日（木）〔必着〕。連絡先：（一社）日本化学工業協会 化学人材育成プログラム協議会事務局 電話(03)3297-2578 FAX(03)3297-2606 E-mail: jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

JASSO 国費で海外留学（奨学金）

海外の大学院で学位取得を目指す皆様、国費による給付型奨学金「海外留学支援制度（大学院学位取得型）」で、日本学生支援機構があなたの留学をサポート。2022年度の募集内容（10月中旬締切）は次のとおり。支援内容：〔奨学金〕月額8万9,000円～14万8,000円 ※留学先国・地域による。〔授業料〕年度の上限250万円の実費額。対象者：学士以上の学位を取得または取得見込みの方で、修士または博士の学位取得を目的として海外の大学院へ留学する方。支援期間：「修士」2年、「博士」原則3年。採用人数：108名（2021年度実績）。※その他、詳細情報は（独）日本学生支援機構のHP (https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/daigakuin/index.html) をご参照下さい。照会先：海外留学支援制度（学位取得型）受付センター（受託者）レジェンダ・コーポレーション（株） E-mail: jasso-ryugaku@s-hr.jp



公益財団法人長瀬科学技術振興財団 2022年度研究助成の募集

公益財団法人長瀬科学技術振興財団では2022年度研究助成の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。助成対象：有機化学〔材料化学を含む〕および生化学、ならびに関連分野において申請者が主体的に進める研究。助成額および件数：1件250万円、25件程度。応募方法：下記HPの「助成金事業」にある、「WEB応募」ページより応募。募集期間：2021年9月1日（水）～11月1日（月）〔期限厳守〕。連絡先：550-8668 大阪市西区新町1-1-17 公益財団法人長瀬科学技術振興財団 電話(06)6535-2117 FAX(06)6535-2160 E-mail: nstf@nagase-f.or.jp <https://www.nagase-f.or.jp/>

2021年度野口遵研究助成の募集

趣旨：独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究を助成。応募課題：〔課題1〕ライフサイエンスの進展に寄与する研究、〔課題2〕エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新材料や新プロセスに関する研究（電子材料および電子デバイスなどを含む）。応募資格：大学等に勤務する39歳以下の研究者。非常勤可。助成金額：原則1件220万円。採択件数：10～15件。締切：2021年11月1日（月）15時。贈呈式：2022年3月15日（火）。応募方法：下記野口研究所HPよりご応募下さい。問合せ先：173-0003 東京都板橋区加賀1-9-7 公益財団法人野口研究所 研究助成金係 電話(03)3961-3255 E-mail: josei@noguchi.or.jp <https://www.noguchi.or.jp>

2022年日本アイソトープ協会 奨励賞

日本アイソトープ協会では、放射性同位体および放射線利用に係わる研究において、独創的かつ顕著な成果を挙げ、将来の利用拡大・発展への寄与・社会貢献等が期待される若手・中堅の研究者個人を顕彰する「日本アイソトープ協会奨励賞」を設置しております。2022年の候補者の募集を7月1日より開始しました。今回より対象分野を広げ、より多くの方にご応募いただけるようになりました。自薦・他薦を問わず広く候補者を募集しております。なお、応募資格を満たせば、再応募も可能です。対象分野：放射性同位体・放射線に係わる基礎および応用研究を対象とする。なお、放射性同位体および放射線の管理、啓発、普及活動、社会活動についても考慮する。応募資格：1. 2022年4月1日において、満45歳未満、または博士の学位取得後10年以内の者。た

だし、出産・育児・介護等のライフイベントによる休業期間および研究開始猶予期間を考慮する。2. 過去において本賞を受賞していないこと。応募期間：2021年7月1日（木）～10月29日（金）。応募方法：応募方法等の詳細につきましては、当協会HP (<https://www.jrias.or.jp/report/cat1/309.html>) よりご確認ください。ご応募お待ちしております。

水素技術分野に関する国際共同研究 公募のお知らせ

戦略的国際共同研究プログラム (SICORP) 「水素技術」における 日本-ドイツ国際産学連携共同研究 提案募集について

JSTでは、戦略的国際共同研究プログラム (SICORP) において、ドイツ連邦教育研究省 (BMBF) と協力し、日本とドイツの国際共同研究を支援することとなりました。本公募は、「水素技術」について、日本側およびドイツ側それぞれの企業とアカデミアの4者で研究チームを組み、国際的な産学連携の体制を築いて、研究開発を実装に近づけることを目指すものです。募集領域サブトピック1：水素技術のための効率的で持続可能な材料。サブトピック2：グリーン水素による持続可能な海上輸送推進力。支援期間：3年間。支援規模：採択された日本側研究者は1研究課題につき3年間で総額5,460万円（1,820万円/年）を上限として委託研究費を受け取ることができず。委託研究費には、直接経費の30%に当たる間接経費が含まれます。採択予定数：3課題程度。募集期間：令和3年6月23日（水）～9月10日（金）。詳細情報：HP (https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_ge_hydrotech.html) 参照。※本件に関するお問い合わせ先：JST 国際部事業実施グループ 火口（ヒグチ）・松本（マツモト） 電話(03)5214-7375 FAX(03)5214-7379 E-mail: jointge@jst.go.jp

2021年度 JAXA 月面での 科学研究・技術実証ミッションに かかるフィジビリティスタディ テーマ募集

JAXAでは下記2課題の募集を2021年7月29日（木）より開始しました。詳細はHP (<https://www.exploration.jaxa.jp/>) 参照。募集対象課題&募集締切：〔課題A〕持続的な月面探査と月面利用の拡大に不可欠な月面環境情報 (ground truth) の取得ならびにそれに基づく環境予測モデル (予測方法) の構築 (2021年9月15日 (水) 12時締切)。今後想定している月面モビリティや拠点インフラの構築に向け必要な放射線や熱的な環境、地盤、地質などの環境情報につ

いて、実際にその場観測し、それらのデータをもとに未踏もしくは未観測の地域・地点に対する環境予測を行うモデル構築研究。実現性検討では、観測・データ評価の手法と実現性について検討いただく。〔課題B〕世界をリードする科学成果の月面活動からの創出（2021年10月20日（水）12時締切）。日本が主導する月面における科学活動から、アポロ計画が現代の惑星科学を形作ったのと同程度な大きなインパクトを宇宙科学にもたらすことを意図し、下記3

テーマ対象提案を募集。(1)月面からの天体観測（月面天文台）、(2)重要な科学的知見をもたらす月サンプルの選別・採取・地球帰還、(3)月震計ネットワークによる月内部構造の把握世界をリードする成果の創出が期待される月面科学。問合せ先：JSF月面ミッションFSテーマ募集係 E-mail: lunarexpsfs@jsforum.or.jp

第28回うま味研究助成

うま味研究会では第28回うま味研究助成の公募を行っています。研究対象：研究テーマが、基本味である“うま味”または“うま味物質”に関するもの。研究の視点、方法が独創的かつ新しい科学的知見を加え、食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。研究分野：(1)うま味に関する基礎研究、(2)うま味に関する応用研究、(3)テーマ特定助成1；うま味物質の減塩

への貢献の本質に関する科学的研究、テーマ特定助成2；ヒトの母乳には他の動物より遊離グルタミン酸が多く含まれることの意義の解明に寄与する研究。研究期間：2022年1月より2年間。採択件数：5件助成額：1件につき100万円。募集期間：2021年7月～10月31日（日）必着。応募方法：申請書をダウンロードし、事務局までE-mailで送付のこと。担当：うま味研究会事務局 E-mail: umami@srut.org https://www.srut.org/

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ①“掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ②掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③同一原稿の掲載は1回に限ります。
- ④講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ①原稿は600字以内で作成して下さい（英文は和文の0.55字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ②掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry>より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；アカカ、記号（約物）；。〔（/等
 - ・ローマ数字；I II III IV、丸数字；①②③④
- A) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で

代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P$ ²

・下付； $CO_2 \rightarrow CO$ ₂

・イタリック；*italic* <I> italic </I>

- ③原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意下さい。

- ④投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。

- ⑤投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①原稿締切日（当月25日）まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話 (03) 5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp